

千葉 ライフ・ライン ニュースレター No.83

【発行】千葉県テレビ伝道協力会
〒260-0021 千葉市中央区新宿2-8-2
CCCビル 「千葉ライフ・ライン係」
TEL 043-247-3058 FAX 043-247-3072
E-mail: chiba@life-line.tv
ホームページ <http://chiba.life-line.tv/>
郵便振替：00110-8-579669

【協力】財団法人 太平洋放送協会 (PBA)
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台
2-1 OCCビル
TEL 03-3295-4921 FAX 03-3233-2650
E-mail: mail@pba-net.com
ホームページ <http://www.pba-net.com>
でんわ世の光 03-3291-9061

「遣わされるもの」

日本ナザレン教団昭和町教会牧師 杉谷 望

先月、機会があつてローマ・バチカンを訪ねることが出来ました。ローマといえば、「クオ・ヴァデス」を思い出します。厳しい迫害から逃げ出すペテロは、ローマに向かう復活のイエスと出会い、再びローマへ戻り、勇気ある宣教を成し、殉教でその生涯を終えました。一クリスチャンとして、キリスト伝道の歴史の現場に立てた、この地で使徒たちの働きが行われたのだ、と、一人勝手に感動に浸っていました。

現代より移動や報道手段の乏しい時代に、人々の心の中にキリスト教が広まったのは、話術がたけていたのか？ 当事の人々の感受性が高かったからか？ 心が乾いていたからか？……。確実に答えられるのは、主のために忠実に働こうとした弟子達と、神様の働きがなければ成せない業であったと思います。

「神は、神を愛する者たち、すなわち、ご計画に従って召された者たちと共に働いて、万事を益となるようにして下さることを、わたしたちは知っている。」(ローマ8：28)

現代に生きる私達にできることは何でしょうか。インターネット等の急速な普及により情報伝達が著しく発展し、キリスト教界も確実に巻き込まれています。クリスチャンはどんなに時代が変わろうとも福音を伝え続けなければなりません。テレビという媒体を通して、一人悩み、病に臥し、生活・人間関係に苦しんでいる人が、神様の聖言葉に触れ、平安と希望に満たされることは素晴らしいことでもあります。

「しかし、信じたことのない者を、どうして呼び求めることがあろうか。聞いたことのない者を、どうして信じることがあろうか。宣べ伝える者がいなくては、どうして聞くことがあろうか。つかわされなくては、どうして宣べ伝えることがあろうか。」(ローマ10：14～15)

時代の波に流されることなく、諸教会の働きと共に「ライフ・ライン」のような働きが伝道の媒体となり、宣べ伝え続けることが「すべての人が救われる」ことを望んでおられる神の御意志の成就につながると思います。その働きに主と共に働いてくださり、人々が遣わされるものへと変えられていくことを祈ります。

「ある人々がおそいと思つているように、主は約束の実行をおそくしておられるのではない。ただ、ひとりも滅びることがなく、すべての者が悔改めに至ることを望み、あなたがたに対してながく忍耐しておられるのである。」(ペテロⅡ 3：8)